

双日の歴史そしてDNAをマンガ・舞台により伝えるプロジェクト

双日株式会社
サステナビリティ推進室
専門部長

こばやし まさゆき
小林 正幸氏



双日株式会社は、源流となる鈴木商店、岩井商店、日本綿花の歴史をひもとき、マンガや舞台で紹介するプロジェクトを推進しています。商社が事業を通じていかに社会に貢献し、未来を創造してきたのかを、次世代を担う子どもたちを含めた幅広い層に分かりやすく伝えることを目指す本プロジェクトの立役者、サステナビリティ推進室 専門部長の小林 正幸氏にお話を伺いました。

—マンガや鈴木商店を題材にした舞台が始動するに至った経緯についてお聞かせください。

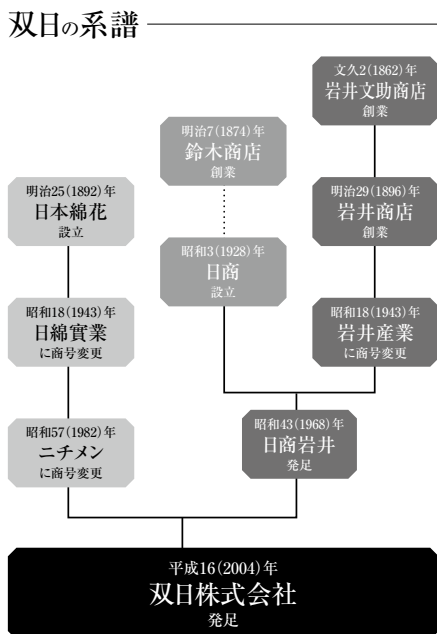
当社は、「中期経営計画2023」において、2030年の目指す姿として「事業や人材を創造し続ける総合商社」を掲げています。

この目指す姿を実現するためには、商社としての原点に立ち戻り、いま一度先人の使命を見つめ直そうという機運が高まりました。

そこで源流3社の歴史をマンガで伝え、また鈴木商店については当社が支援の中心となり舞台が開催されることになりました。

私自身が鈴木商店と出会ったのは、2007年に秘書部に異動し、重要顧客対応に携わった時です。本部別に20社ほど重要顧客をリストアップしてもらったところ、創業以来、歴史的な関係が深い会社ばかりでした。双日という会社には、約100年前から脈々と続いているものがあると確信し、歴史を調べてみようと思ったのがきっかけです。

歴史を調べていく中で、例えば鈴木商店は1917年に日本一の商社になっていたり、岩井商店や日本綿花もさまざまな事業を起こし、日本の海外進出の先兵として活躍していたりと、双日の源流3社は、合わせると日本最大級の規模で日本の産業革命をけん引していたことが分かり、社内外にこの双日固有の資産である歴史を知ってほしいと思うよ



双日の系譜

うになりました。

また、鈴木商店OBにより結成された親睦団体である辰巳会を通じて、鈴木商店ゆかりの企業そして愛好家、研究者の方々と交流する機会が増えるようになりました。自分と同じく、鈴木商店を世の中にもっと知ってもらいたいという人たちがたくさんいらっしゃる感じ、自分自身も発起人となり、2014年に鈴木商店に関する資料や写真を収集・整理した「鈴木商店記念館」というアーカイブサイトを立ち上げました。現在、当社も含め35社が協力して「鈴木商店記念館」の運営や鈴木商店関連イベントの開催など、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、社内では、同じく2014年に双日の歴史を紹介するサイト「双日歴史館」を立ち上げ、また2016年、2017年には東京本社、関西支社にそれぞれ歴史展示コーナーを設置しました。

一神戸市と協力して公演する舞台「彼の男 十字路に身を置かんとす」についてお聞かせください。

2017年の神戸開港150年を記念して、港町神戸繁栄の基礎の一端を築いた鈴木商店の歴史的価値を後世に伝えるため、「鈴木商店記念館」は鈴木商店発祥の地である神戸に「鈴木商店モニュメント」を建立し、神戸市に寄贈しました。当社も「鈴木商店記念館」を通じて支援したのですが、このご縁もあり、神戸市と連携して舞台や各種イベントを実施することになりました。

舞台「彼の男 十字路に身を置かんとす」は、大番頭・金子直吉の指示を受けた社員が世界中を駆け巡り、次々と事業を立ち上げていくストーリーで、LiveUpCapsules（ラ



舞台「彼の男 十字路に身を置かんとす」ポスター

イブアップカプセルズ) という劇団により、2018年に初演が行われました。

舞台創作に当たっては、「鈴木商店記念館」のサイトを大変参考にしたそうです。その後、当社が冠スポンサーとなり、2020年4月には東京と神戸で公演する予定でしたが、緊急事態宣言が発出されたことにより、残念ながら公演直前になって中止を余儀なくされました。

公演中止後、ウィズコロナの日々を経て、当社中心となって、また30社を超える企業や自治体などの協賛・協力・後援を得て、2023年4月に東京と神戸で再演する運びとなりました。

また、神戸公演では、本舞台を後援する神戸市と当社そして鈴木商店ゆかりの企業が連携し、「鈴木よねさんからの贈り物」という招待事業も実施します。2023年が神戸開港から156年に当たることにちなみ、教育関係者、観光ガイドボランティア、港湾関係者156人を本舞台に招待する予定です。

さらに神戸市においては、本舞台の公演に合わせて「神戸港と鈴木商店を語る会」と題する講演会を開催する他、「鈴木商店ゆかりのまち歩き」と称するイベントや鈴木商店関連の資料・図書の展示を2023年4月前後に

実施予定です。行政が一企業の歴史をここまで重んじてくださるのはなかなかないことだと思います。それほど鈴木商店を大切に思ってくださいているあかしであり、担当者として本当にありがたく思っています。

一次に、歴史マンガ『総合商社 双日 未来を創造した先駆者たち』についてお聞かせください。

先にご紹介した舞台は、鈴木商店にフォーカスを当てた内容ですが、歴史マンガは当社の源流である鈴木商店、岩井商店、日本綿花の3社を取り上げています。

第1次世界大戦が勃発した1914-1918年の間、日本ではさまざまな企業が誕生し、設備投資も10倍くらいに増加しました。それまで貿易赤字が続いていた日本が貿易黒字となる、つまり債務国から債権国に転換した時期でもあるのですが、鈴木商店や岩井商店、日本綿花も日本の産業革命をけん引し、多彩な事業を展開していました。こうした歴史的な瞬間にどのような考えの下で事業を興したのかという「起業家精神」を分かりやすく伝えることを意識しています。

マンガにこだわったのは、絵には表現の幅があるからです。例えば私の長い話を文字に

落とし込んで子どもたちには理解しにくいですが、マンガの絵ですと人物の表情も合わせて伝えられるものがたくさんあると思います。

同じ時代に活躍した3社を並べることで、第1次世界大戦といった歴史的対大事件に対して、各社がどうチャンスをつかえたのか、共通点と違いを浮き出せ、当社の先人の経営思想を感じ取ることができるのも、このマンガのユニークな点です。

マンガは、2022年6月の第1巻発刊後、四半期に1巻のペースで発刊しており、当社のWEBサイト上で公開しています。2023年4月ごろに発刊する第4巻では、鈴木商店が日本一の商社になった時期を取り上げますが、ちょうどそのころに先ほどの舞台が上演されます。マンガという2次元と、舞台という3次元をリンクさせることで、より臨場感のある世界観を感じていただけるのではないかと考えています。

また、本歴史マンガを通じて、次世代を担う子どもたちに郷土の歴史と神戸港から世界に羽ばたいた商社について知ってほしいと思い、発刊の都度、神戸市内の各図書館に寄贈するとともに、当社が運営する商業施設、エキソアレ西神中央にて無償で配布しています。



歴史マンガ『総合商社 双日 未来を創造した先駆者たち』

一自社の歴史を紹介する歴史マンガや舞台を制作・企画する上での思いをお聞かせください。

当社はニチメン株式会社と日商岩井株式会社の合併により2004年に発足しました。源流となる各社が創業から100年以上の歳月の中で培ってきた事業創造のDNAは、現在も受け継がれています。

商売とは、ある日突然生まれてくるものではなくて、脈々と続いてきたものが変革を繰

り返しながら広がっていくものだと思います。過去からずっと変革してきて今があるのです。変革を続けてきた鈴木商店や岩井商店、日本綿花のDNAを受け継いでいる双日だからこそ、この先の10年、20年も次の成長に向けた変革に挑戦し続けることができるのだと信じています。今回ご紹介した舞台や歴史マンガを通して、この変革の連鎖をしっかりと伝えていきたいです。

舞台「彼の男 十字路に身を置かんとす」
ウェブサイト 
<https://pltra.com/>

歴史マンガ『Hassojitz ~総合商社 双日 未来を創造した先駆者たち~』ウェブサイト
[https://www.sojitz.com/special_](https://www.sojitz.com/special_site/pioneer/) 
[site/pioneer/](https://www.sojitz.com/special_site/pioneer/)

舞台「彼の男 十字路に身を置かんとす」 公演チケットプレゼントのお知らせ

『日本貿易会月報』読者の皆さまの中から抽選で合計20名様（東京公演、神戸公演で各10名様）に、舞台「彼の男 十字路に身を置かんとす」の公演チケットをプレゼントいたします。募集内容等の詳細は以下の通りです。

●募集内容

東京公演：①4月11日（火）15時、②4月14日（金）14時、③4月15日（土）18時、
神戸公演：①4月21日（金）14時、②4月22日（土）12時、③4月22日（土）16時、
④4月23日（日）12時、⑤4月23日（日）16時

●応募方法

官製はがきに必要な事項（「『彼の男 十字路に身を置かんとす』日本貿易会チケットプレゼント希望」「お名前」「ご住所」「連絡先電話番号」「ご希望の公演日時」「チケット枚数（1枚または2枚）」）をご記載の上、下記宛先にお送りください。

【ご応募先】〒179-0073 東京都練馬区田柄3-1-10
J-Stage Navi 『彼の男』係（2月20日消印有効）

※ご応募いただいた個人情報は、J-Stage Naviにて保管・管理し、チケットプレゼントの抽選および発送にのみ使用いたします。

※当選者の発表は、チケットの発送をもってかえさせていただきます（チケットの発送は2023年3月上旬ごろを予定）。

※チケットの発送先は、日本国内に限らせていただきます。

【チケットプレゼントに関するお問い合わせ】

LiveUpCapsules『彼の男 十字路に身を置かんとす』制作
J-Stage Navi（ジェイステージナビ）担当：島田敦子
TEL：03-6672-2421 E-mail：atsuko@j-stage-i.com